

空家等実態調査の結果(暫定値)

平成29年2月現在

地区名	空家等(棟) A	参考(世帯数) B	$\frac{A}{A+B}$		地区名	空家等(棟) A	参考(世帯数) B	$\frac{A}{A+B}$	
第一	170	2,802	6%		小田切	141	445	24%	
第二	258	5,333	5%		芋井	243	974	20%	
第三	173	3,510	5%		篠ノ井	643	16,596	4%	※
第四	68	1,345	5%		松代	614	7,032	8%	※
第五	78	2,417	3%		若穂	298	4,526	6%	※
芹田	275	12,717	2%		川中島	259	10,759	2%	
古牧	213	11,229	2%		更北	264	13,462	2%	
三輪	262	7,773	3%		七二会	199	759	21%	
吉田	181	7,171	2%		信更	260	928	22%	
古里	131	5,543	2%		豊野	131	3,688	3%	
柳原	47	2,791	2%		戸隠	387	1,510	20%	
浅川	210	2,830	7%	※	鬼無里	250	679	27%	
大豆島	86	4,941	2%		大岡	426	544	44%	
朝陽	137	6,166	2%		信州新町	552	1,947	22%	
若槻	270	8,189	3%		中条	411	870	32%	
長沼	66	914	7%		計	8,099	159,503	4.8%	
安茂里	396	9,113	4%						

※一部が中山間地域

中山間地域(13支所14地域): 浅川、小田切、芋井、信里、西条、豊栄、保科、七二会、信更、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条

■空家等推計値

- 平成28年9月～平成29年1月に市内全域の外観目視による現地調査を実施
- 空家等の数は、空家特措法を前提として、「空家等」と推察されるものを含んでいます
戸建て住宅のほか事業所、店舗等も含む棟数
(不動産物件として管理表示のあるもの、アパート・長屋の空き住戸、県営・市営住宅は除く)

■調査結果から見る本市の空家等の実態

- 戸建て住宅数の統計値がなく、新設住宅着工や解体など日々変動があり、正確な建物数が把握困難なため、目安として世帯数が住宅棟数に近いと考えて割合を算出。

$$\text{空家(住宅)割合} = \text{空家等A} / (\text{空家等A} + \text{世帯数B})$$

この表から、中山間地域での割合が高いことが分かる。(大岡、中条、鬼無里地区が特に高い)

→ 中山間地域(浅川、篠ノ井、松代、若穂を除く)・・・約25%

→ 中山間地域以外(浅川、篠ノ井、松代、若穂を含む)・・・約3%

- 国の「H25年 住宅・土地統計調査」による本市の住宅数は171,870戸。
別荘等の二次住宅を除いた空き家は22,480戸で、実質空き家率は13.1%(全国12.8%)
このうち賃貸や売却用を除いたその他の住宅は8,500戸で、割合は4.9%と推計されており
調査結果と近い数値となっている。